

F SPORT PARTS (TRD)**MS344-53004/5/6
サイドスカート****取付・取扱要領書**

この度はF SPORT PARTS (TRD) サイドスカートをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載しております。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取付けはできません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS344-53004-A0	ホワイトノーヴァガラスフレーク(083)	レクサス IS	GSE31 ASE30	'20.9~	
MS344-53004-B0	ソニックチタニウム(1J7)				
MS344-53004-C0	グラファイトブラックガラスフレーク(223)				
MS344-53005-NP	未塗装品		AVE3#		
MS344-53006	ブラックエディション(212)				

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

No.	部品名	品番	数量	備考
①	サイドスカート RH		1	
②	サイドスカート LH		1	
③	サイドスカートインナー RH		1	サイドスカート RHに仮組み済
④	サイドスカートインナー LH		1	サイドスカート LHに仮組み済
⑤	クリップ	75867-33030	22	車両クリップ交換用
⑥	両面テープ		2	車両貼替え用 12.5×23 t=1.2
⑦	スクリベット		10	
⑧	スペーサー		2	M6 t=2
⑨	スペーサー		2	M6 t=3
⑩	穴あけステッカー RH		1	
⑪	穴あけステッカー LH		1	
⑫	PACプライマー(赤袋)		1	N-200
⑬	PACプライマー(青袋)		1	K-500
⑭	取付・取扱要領書		1	本書

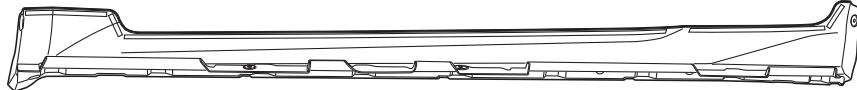
以下、MS344-53005-NP(未塗装品セット)のみに同梱

No.	部品名	品番	数量	備考
⑯	モール		各2	ブラック/ライトグレー L=2100mm

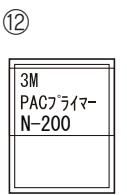
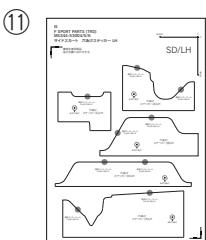
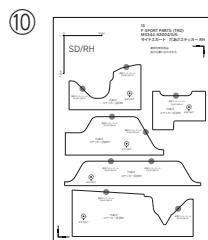
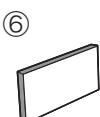
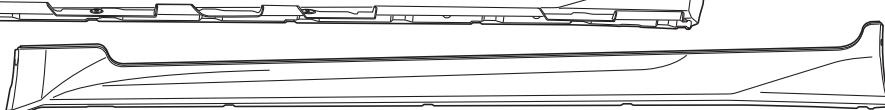
※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図

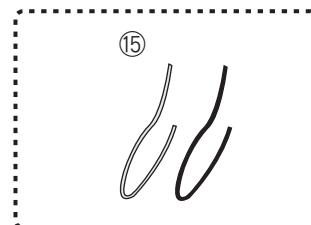
①(③仮組み済)



②(④仮組み済)



以下、MS344-53005-NP
(未塗装品セット)のみに同梱



■ モール設定 推奨カラー表

カラーNo.	カラー名	推奨モールカラー	カラーNo.	カラー名	推奨モールカラー
083	ホワイトノーヴァガラスフレーク	ライトグレー	223	グラファイトブラックガラスフレーク	ブラック
085	ソニッククォーツ	ライトグレー	3R1	レッドマイカクリスタルシャイン	ブラック
1J7	ソニックチタニウム	ブラック	3T5	ラティアントレッドコントラストレイヤリング	ブラック
1L1	ソニッククロム	ブラック	8X1	ヒートブルーコントラストレイヤリング	ブラック
1L2	ソニックイリジウム	ブラック	8Y6	セレスティアルブルーガラス	ブラック
1L8	チタニウムカーバイドグレー	ブラック	1N0	ニュートリノグレー	ブラック

取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行なってください。



この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行なうと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



スピーディに作業していただく上で、知つておいていただきたいことを記載しています。



⚠ 警告

① 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。

② 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車株発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行なってください。

③ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らぬと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

① 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

② 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。)

① 脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または、「トヨタモビリティパツ(株)取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行なってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。

② 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂ができず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

① 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

② 両面テープは一度貼付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。

③ 本商品の両面テープは、環境温度が20°C以下の低温時には接着力が著しく低下します。温度が足らぬと両面テープが剥がれます。

④ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。圧着が足らぬと両面テープが剥がれます。

⑤ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かかるないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかつた場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

① 本商品は塗装前に下地処理が必要です。

② 本商品に塗装する際は、両面テープを全面マスキングしてください。

③ 乾燥させる際は、製品の変形が変形しないように固定してください。
乾燥温度が高いと製品に変形やひび割れを起こしますので、70°C以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

① 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

② 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行なってください。

③ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車株発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図、モール設定推奨カラー表	1~2
2. 取付け上のご注意(取付け作業者の方へ)	3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付け構成図	4
4. 未塗装品の取扱いについて	5~6
5. 取付け準備・取付け要領	7~12
6. 取付け完了後の点検・注意事項	12

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー
- ・加工用工具(ハサミ・カッター等)・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ
- ・電動ドリル(刃: 3.0mm/6.0mm)
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、3年・60,000kmの保証を実施致します。

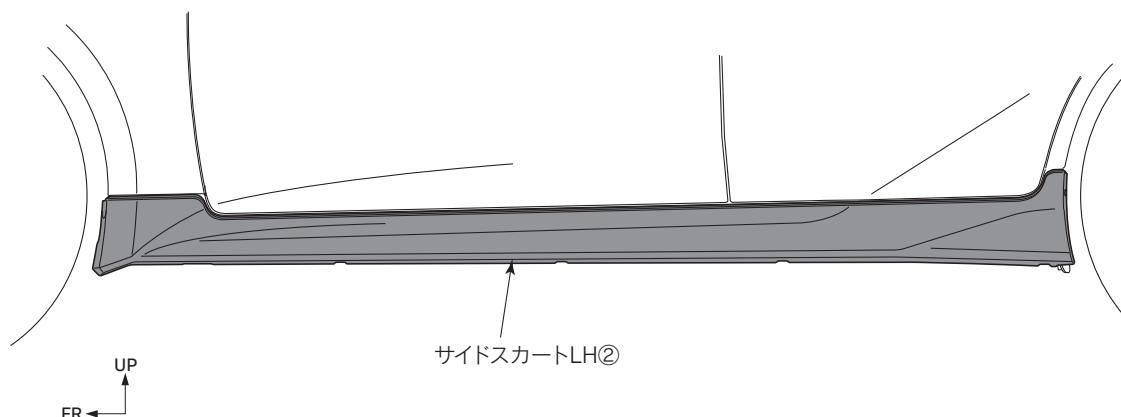
(3年または60,000km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付け構成図

※LH図示



塗装済み品の取付けは、7ページ【取付け準備 取付け要領】に進み作業を行なってください。

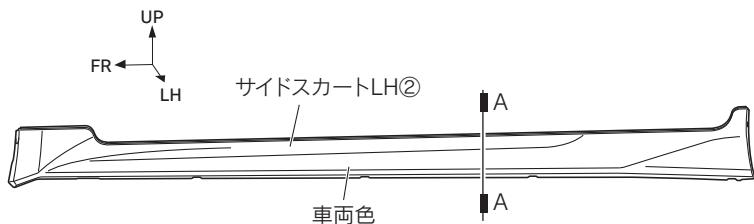
■ 未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS344-53005-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

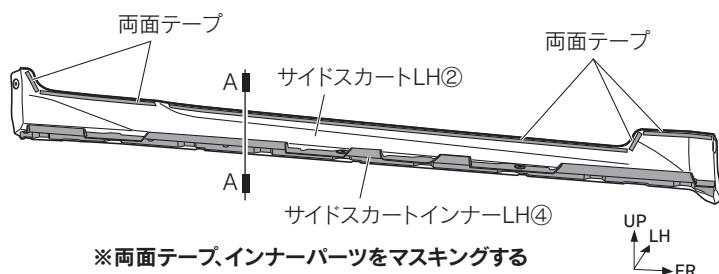
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

□ サイドスカートの塗装

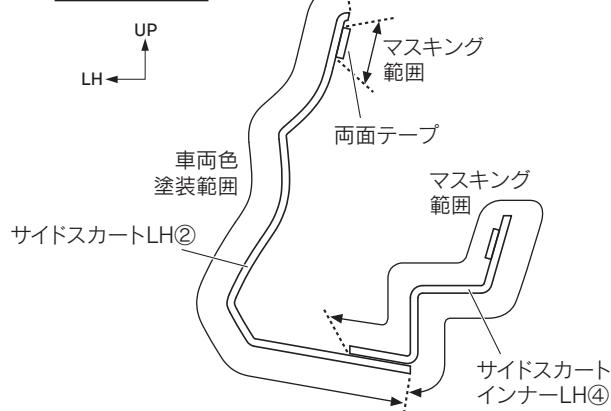
図1 ※LH図示 左右共通作業



裏面視 ※LH図示 左右共通作業



A-A 断面図



1. 図1のようにサイドスカート②を車両色で塗装する。

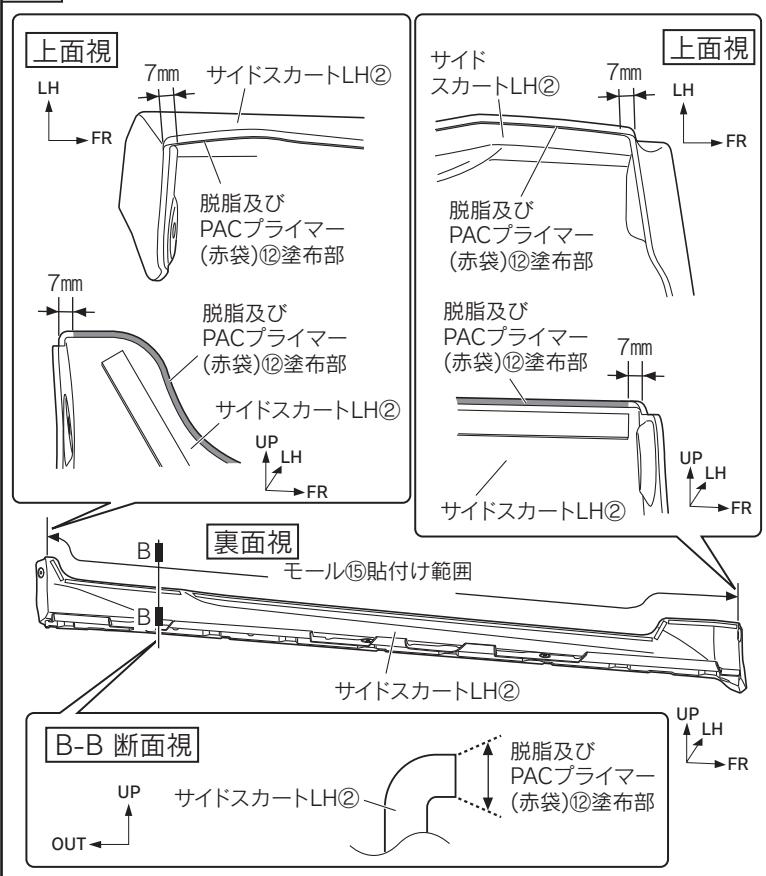
△ **注意**: 本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサーフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

△ **警告**: 両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△ **注意**: 乾燥温度を70℃以上に上げますと製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

□ モールの貼付け

図2 ※LH図示 左右共通作業

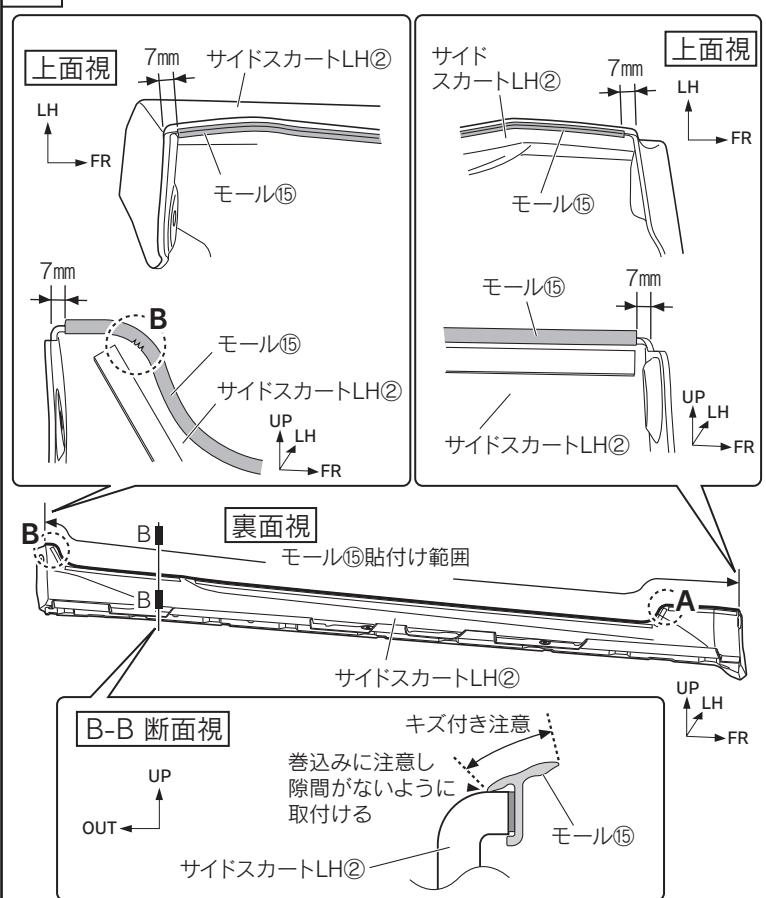


1. 図2のようにモール⑯貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみPACプライマー(赤袋)②を塗布する。

△注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

アドバイス: 脱脂作業を行なう際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

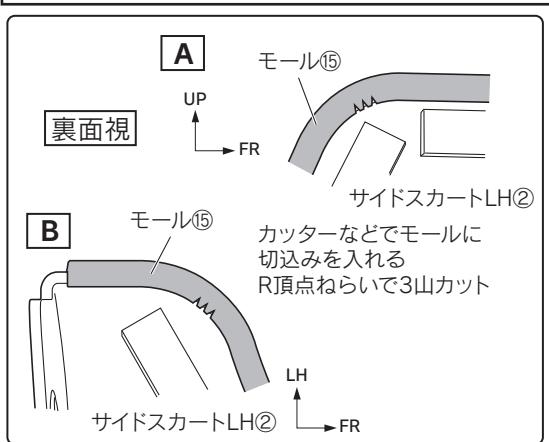
図3 ※LH図示 左右共通作業



2. 図3のようにモール⑯の両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け圧着する。
モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意: モールは二色同梱されています。
塗装色に合わせてモール色を選択し貼付けてください。

△注意: 両面テープの接着力を最大限発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び製品の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

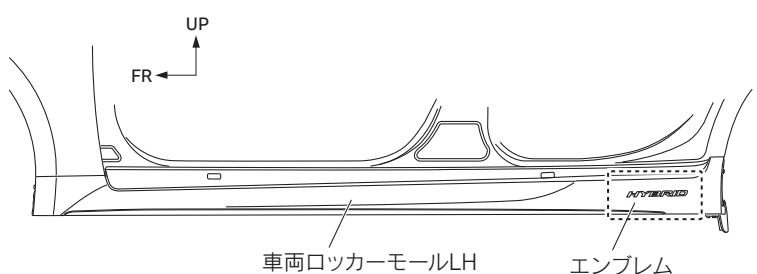


■ 取付け準備 取付け要領

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

□ エンブレムの取外し

図4 ※LH図示 左右共通作業

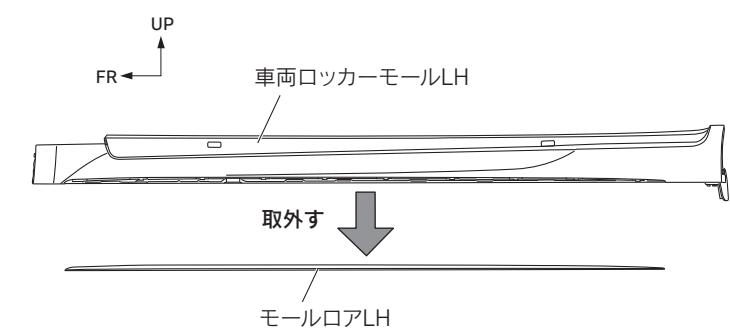


1. 図4のように車両ロッカーモールLHにエンブレムが取付いている場合はエンブレムを取り外してください。

※取外したエンブレムは再使用しません。

□ サイドスカートの取付け準備

図5 ※LH図示 左右共通作業



1. 図5のように該当車両の修理書に従い、車両から車両ロッカーモールLHを取り外す。

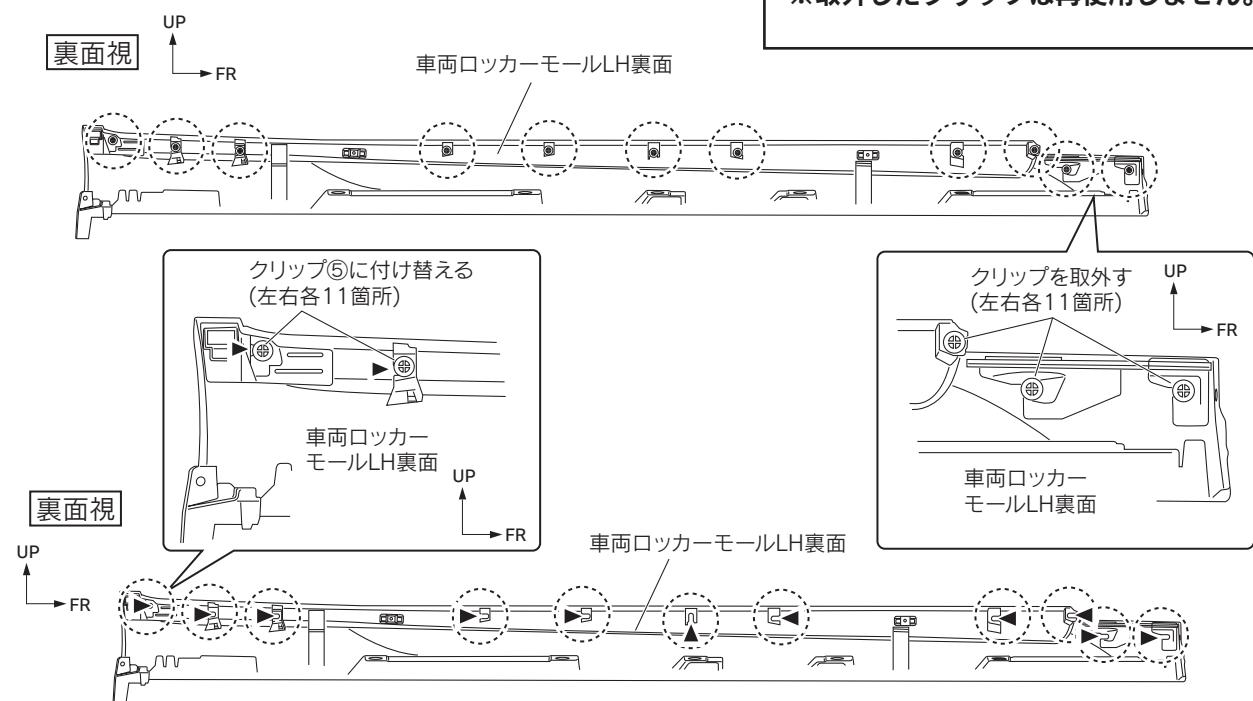
2. 図5のように車両ロッカーモールLHからモールロアLHを取り外す。

※取外したモールロアLHは再使用しません。

△注意 :取外した車両スクリューは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

図6 ※LH図示 左右共通作業

車両ロッカーモールLH裏面のクリップを外し
同梱のクリップ⑤に付け替える(左右各11箇所)

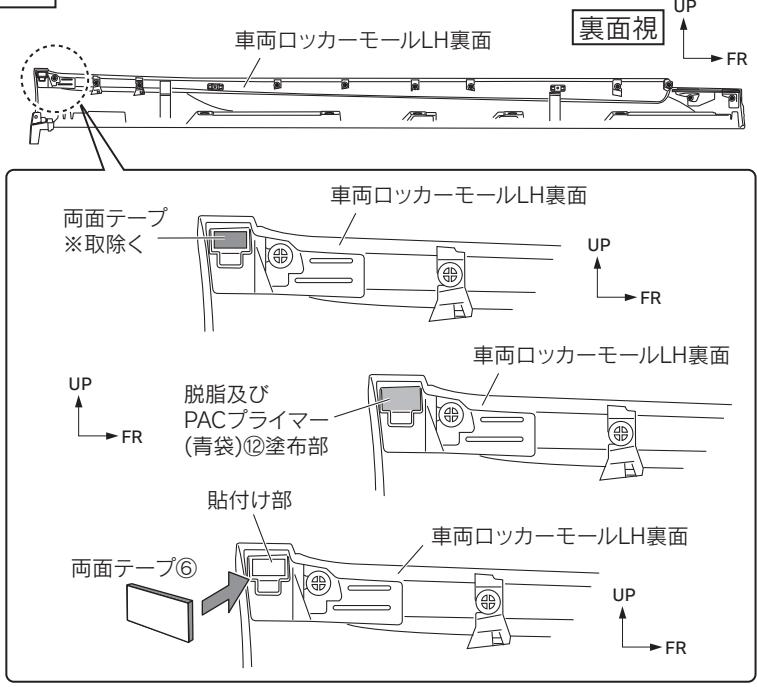


3. 図6のように車両ロッカーモールLH裏面のクリップを取外しクリップ⑤に付け替える。

(左右各11箇所)

※取外したクリップは再使用しません。

図7 ※LH図示 左右共通作業



4. 図7のようにロッカーモールLHの両面テープを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、PACプライマー(青袋)⑬を塗布する。

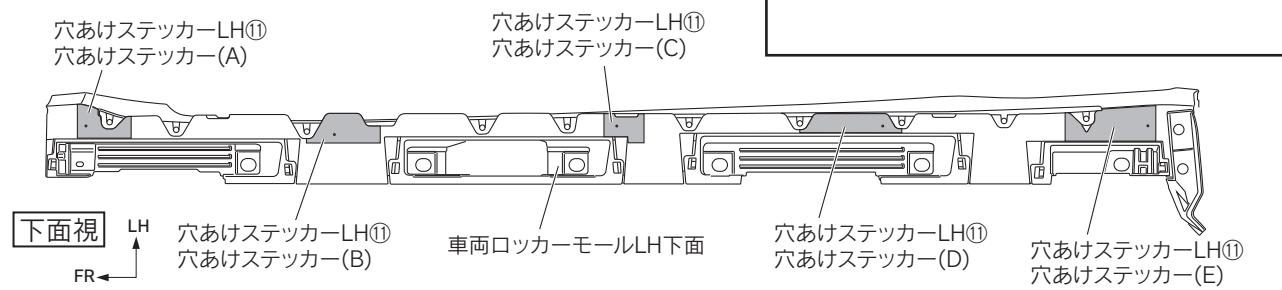
△注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

△アドバイス: 脱脂作業を行なう際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

5. 図7のように両面テープ⑥を貼付け圧着する。

図8 ※LH図示 左右共通作業

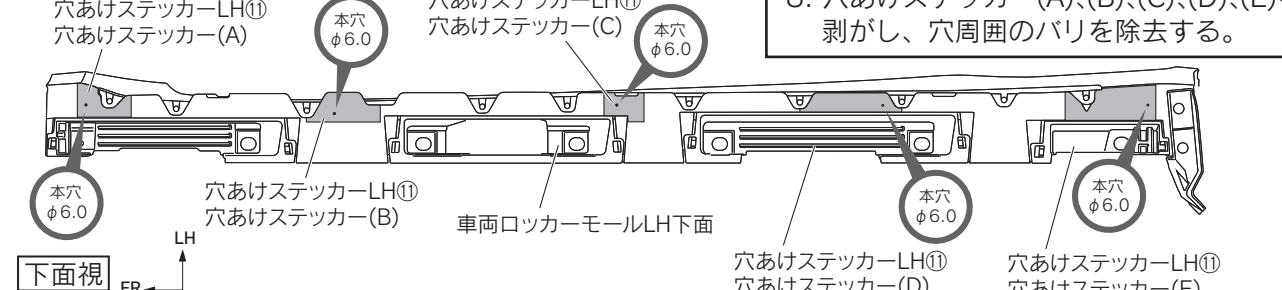
ステッカー記載の要領に従って正確に貼付けてください。



6. 図8のように穴あけステッカーLH⑪からステッカー(A)、(B)、(C)、(D)、(E)を剥がし、車両ロッカーモールLH下面に貼付ける。

図9 ※LH図示 左右共通作業

下穴 $\phi 3.0$ 本穴 $\phi 6.0$ (左右各5箇所)



7. 図9のように穴あけステッカー(A)、(B)、(C)、(D)、(E)に型抜きされている小さな穴の中心を狙いケガキ針で印を付け、ドリルで下穴を $\phi 3.0$ であけ、 $\phi 6.0$ の本穴をあける。(左右各5箇所)

8. 穴あけステッカー(A)、(B)、(C)、(D)、(E)を剥がし、穴周囲のバリを除去する。

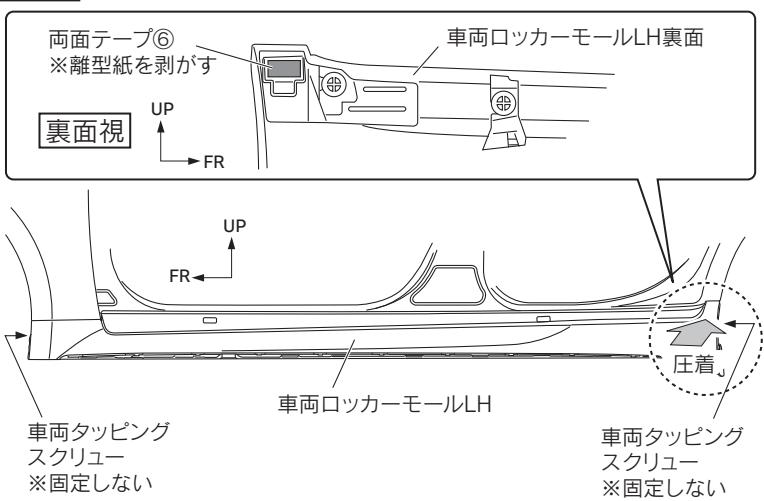
△注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

△注意: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズれないように注意してください。

△アドバイス: 突き抜け防止のため、ドリル先端から10mmのところに布テープを巻付けてください。



図10 ※LH図示 左右共通作業



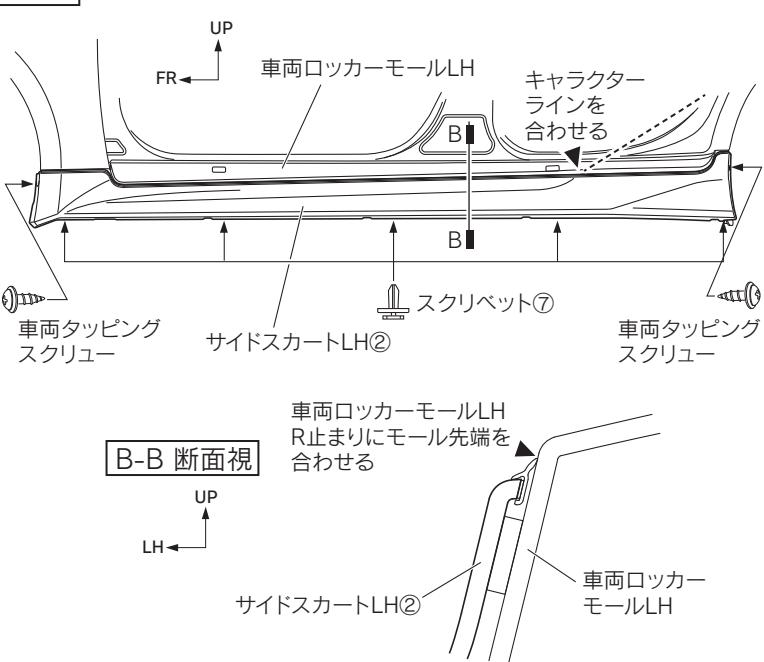
- 該当車両の修理書に従い、車両ロッカーモールLHを車両に復元する。

※車両ロッカーモールLHに貼付けた両面テープ⑥の離型紙を剥がし、取付け後は圧着する。

その際、前後のホイールハウスの車両タッピングスクリューは後工程のために固定しない。

□ サイドスカートの取付け要領

図11 ※LH図示 左右共通作業

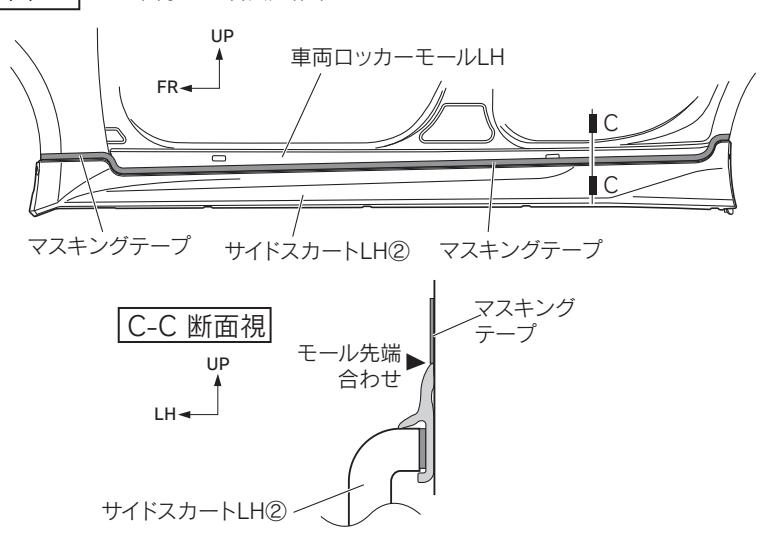


- 図11のように車両ロッカーモールLHにサイドスカートLH②をあて、前後のホイールハウスを車両タッピングスクリューで仮締めし、下面をスクリベット⑦で固定する。
(左右各7箇所)

アドバイス:スクリベットはプラスドライバーで押し込んでください。
押し込みにくい場合はプラスドライバーを回して締め込んでください。

アドバイス:サイドスカートを合わせる際、リヤドアにつながるキャラクターラインが車両とズれていないことを確認してください。

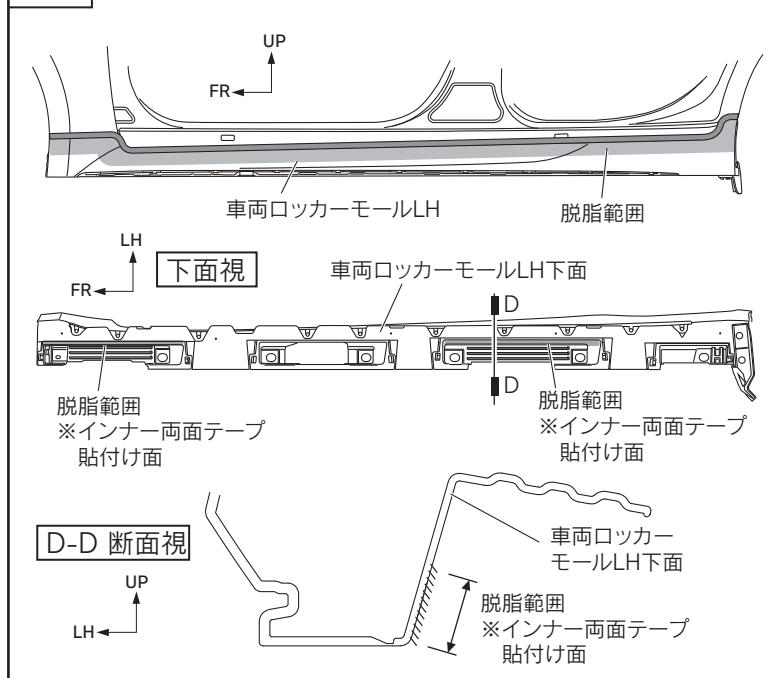
図12 ※LH図示 左右共通作業



- 図12のようにサイドスカートLH②のモール先端に合わせてマスキングテープを貼付ける。

△注意:PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行なってください。

図13 ※LH図示 左右共通作業



3. サイドスカートLH②を取外す。

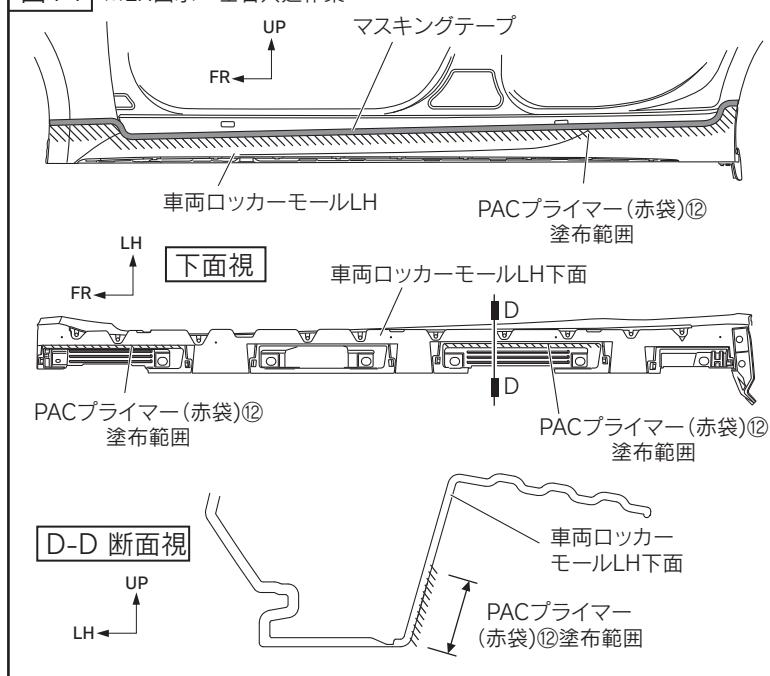
4. 図13のようにサイドスカートLH②の両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

△注意: 脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りテープが剥がれる原因になります。

アドバイス: 脱脂作業を行なう際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図14 ※LH図示 左右共通作業

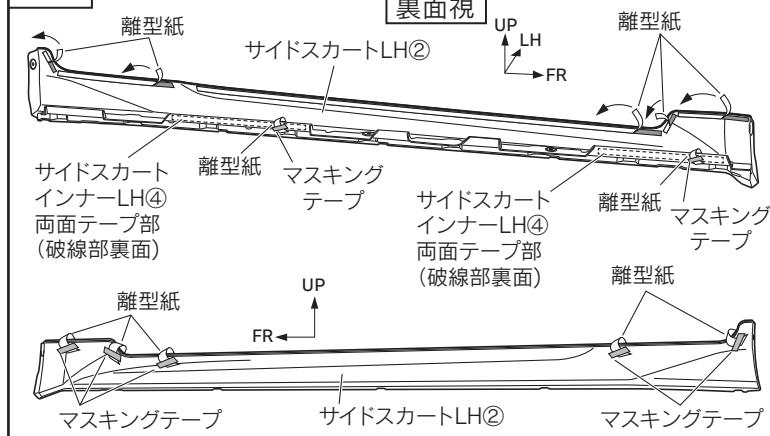


5. 図14のようにサイドスカートLH②の両面テープ貼付け部にPACプライマー(赤袋)⑫を塗布する。

△注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

6. マスキングテープを剥がす。

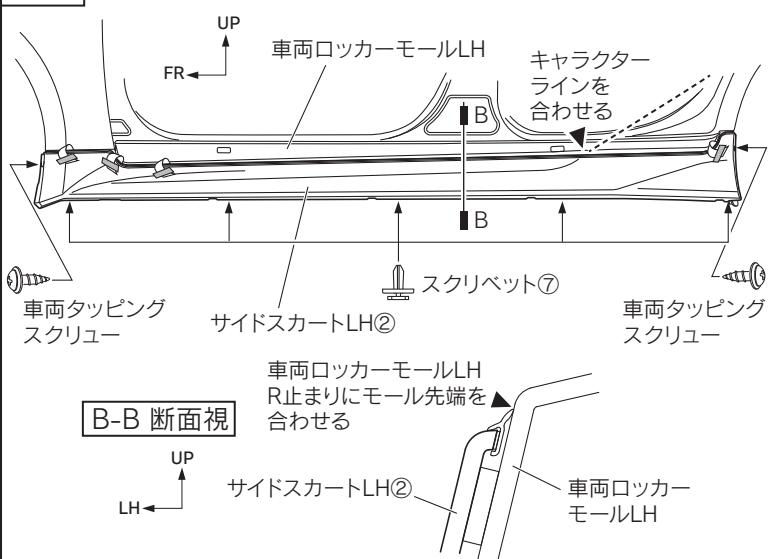
図15 ※LH図示 左右共通作業



7. 図15のようにサイドスカートLH②とサイドスカートインナーLH④両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各7箇所)

△注意: 両面テープの接着力を最大限発揮させるため、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

図16 ※ LH図示 左右共通作業

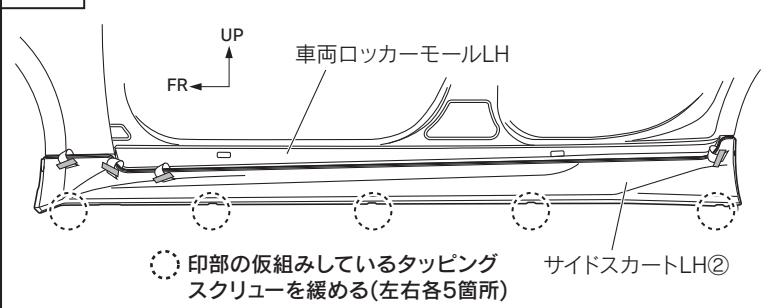


8. 図16のように車両ロッカーモールLHにサイドスカートLH②をあて、前後のホールハウスを車両タッピングスクリューで仮締めし、下面をスクリベット⑦で固定する。

アドバイス：スクリベットはプラスドライバーで押し込んでください。
押し込みにくい場合はプラスドライバーを回して締め込んでください。

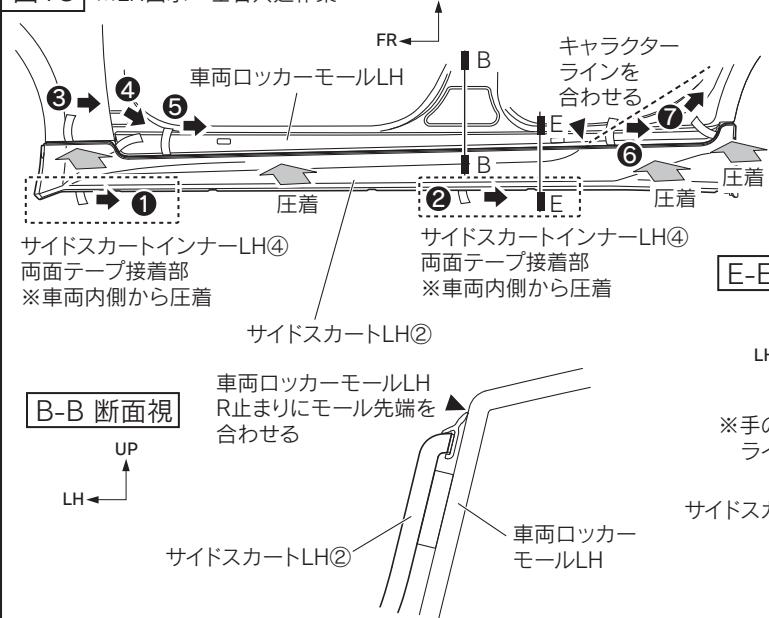
アドバイス：サイドスカートを合わせる際、リヤドアにつながるキャラクターラインが車両とずれていないことを確認してください。

図17 ※ LH図示 左右共通作業



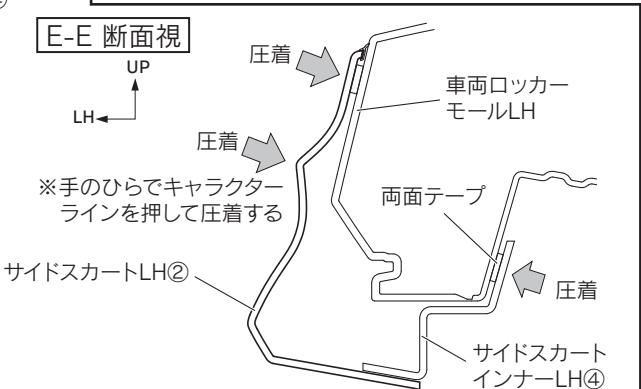
9. 図17のようにサイドスカートLH②下面とサイドスカートインナーLH④を仮組みしているタッピングスクリューを緩める。
(左右各5箇所)

図18 ※ LH図示 左右共通作業



10. 図18のようにサイドスカートインナーLH④の両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら圧着する。

11. 図18のようにサイドスカートLH②のモール先端と、車両ロッカーモールLHのR止まりを合わせた状態で両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら圧着する。

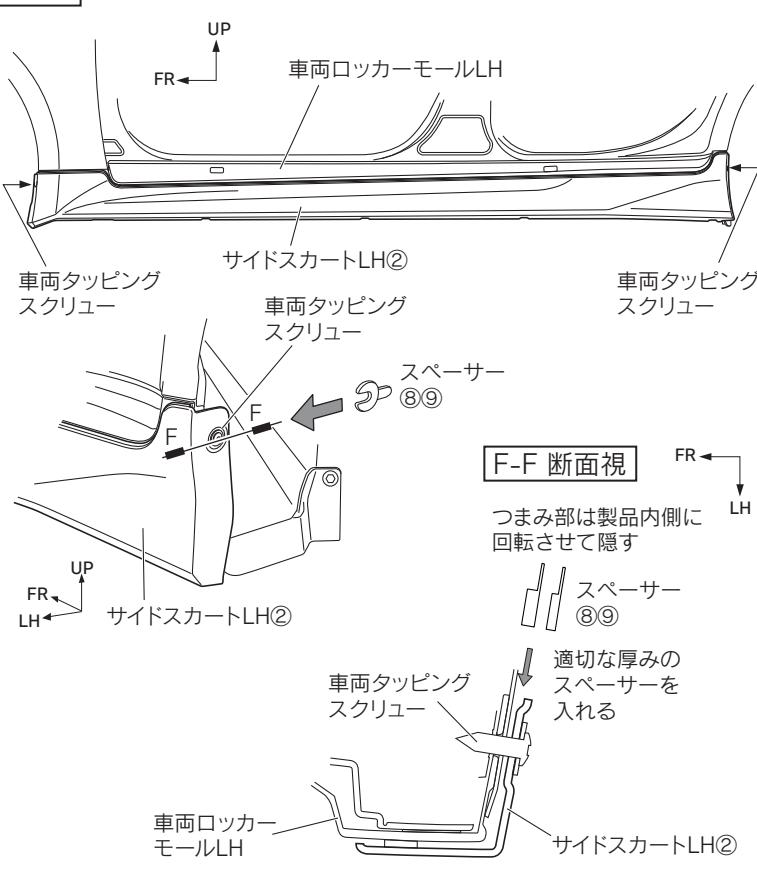


アドバイス：両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

警告：両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。

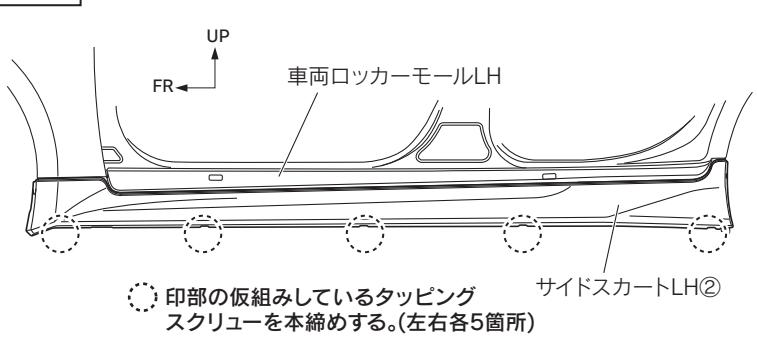
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

図19 ※LH図示 左右共通作業



12. 図19のように後側ホイールハウスの車両タッピングスクリューにサイドスカートLH②の隙間に応じてスペーサー⑧⑨を差し込み、前後のホイールハウスの車両タッピングスクリューを本締めする。(左右各2箇所)

図20 ※LH図示 左右共通作業



13. 図20のようにサイドスカートLH②下面とサイドスカートインナーLH④を仮組みしているタッピングスクリューを本締めする。(左右各5箇所)

■ 取付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周にわたり、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>

IS

F SPORT PARTS (TRD)

MS344-53004/5/6

サイドスカート 穴あけステッカー LH

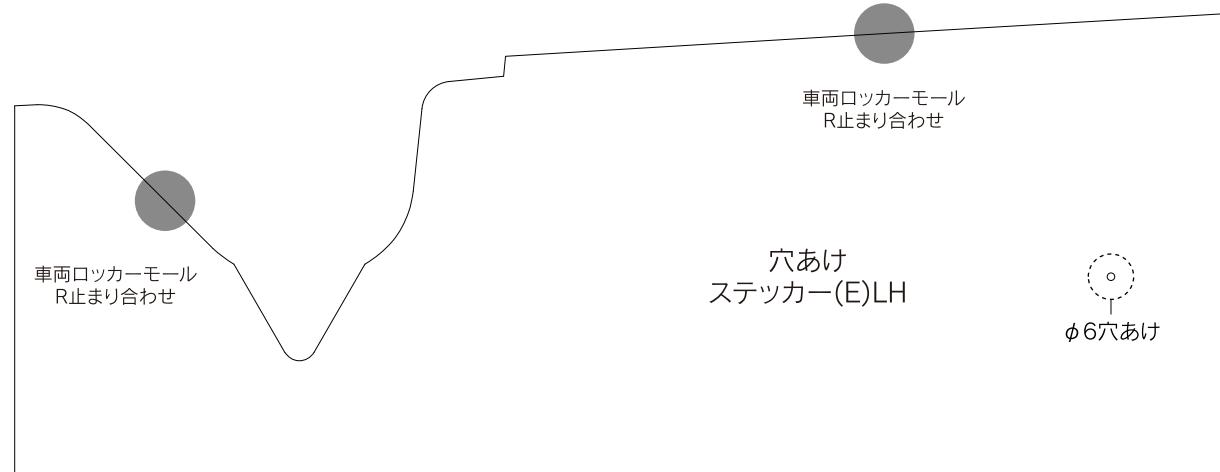
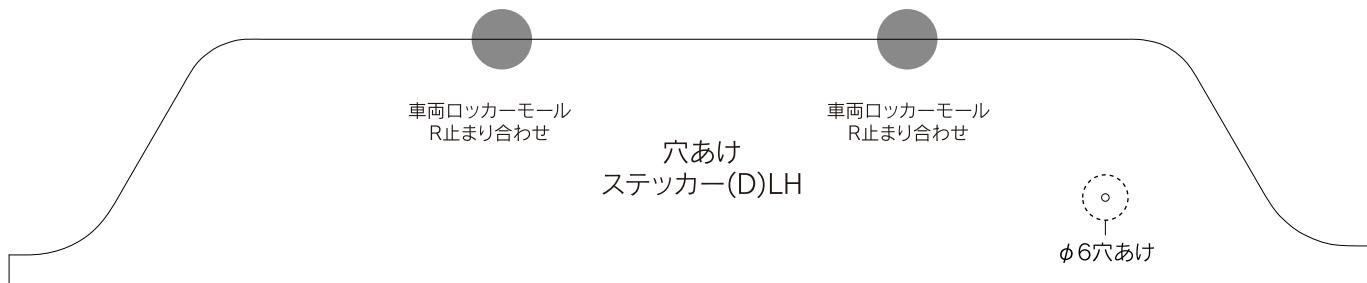
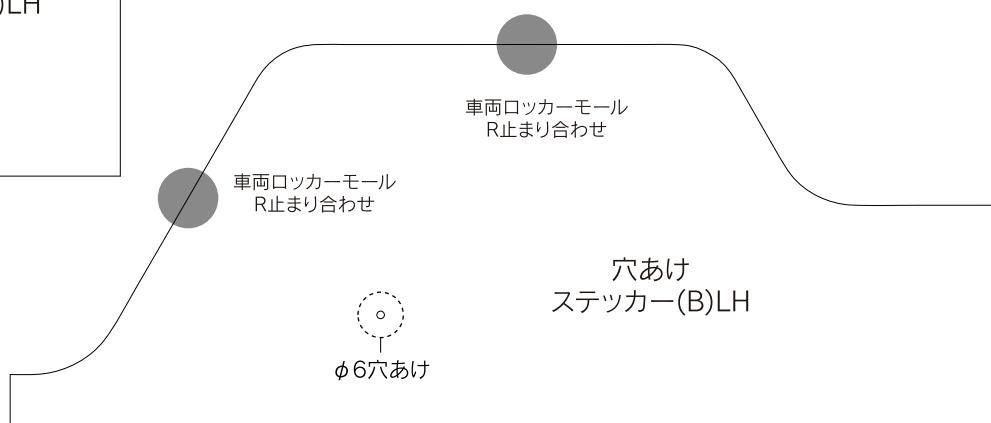
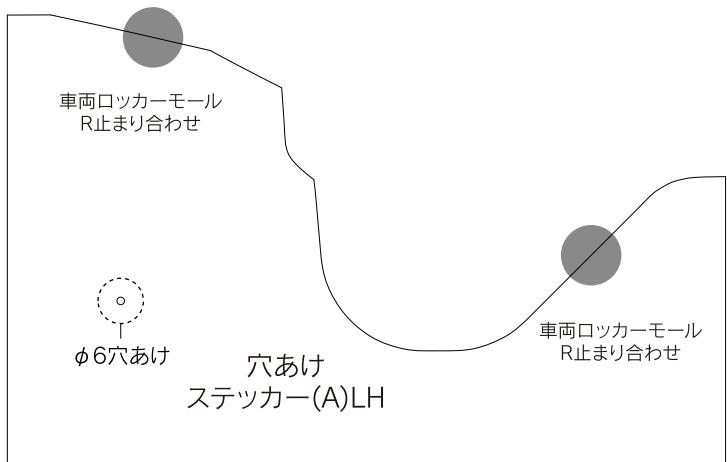
50mm

0

SD/LH

50mm

●部を車両部品
指示位置に合わせます。

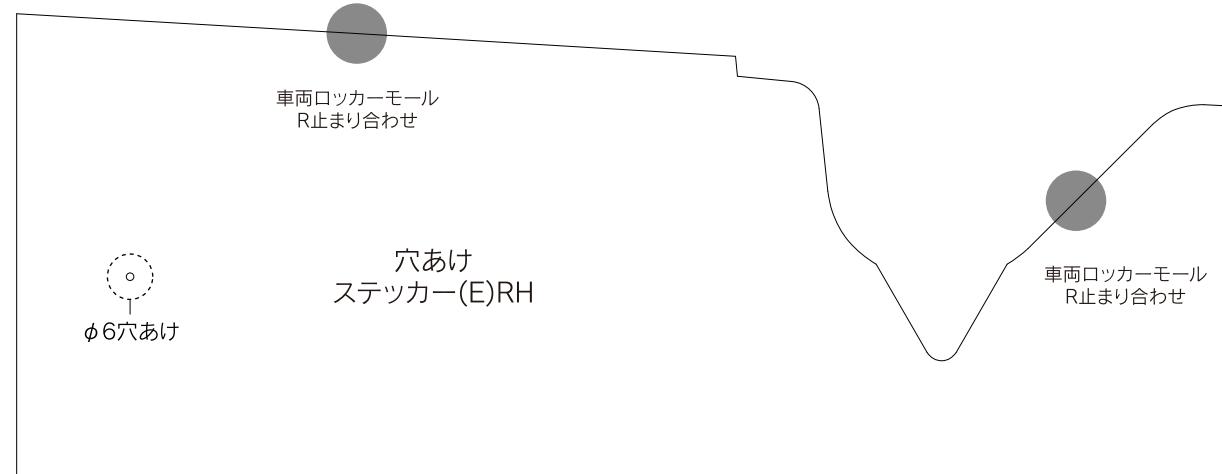
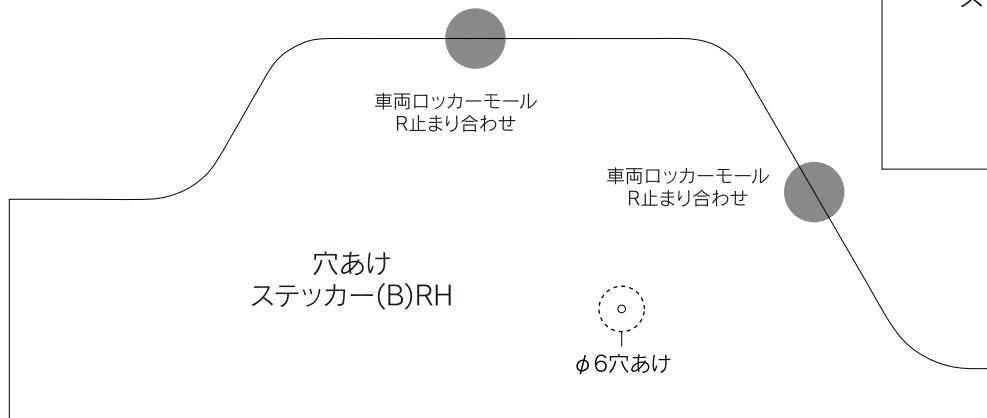
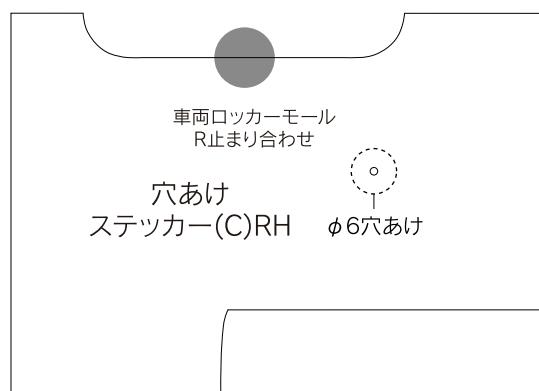
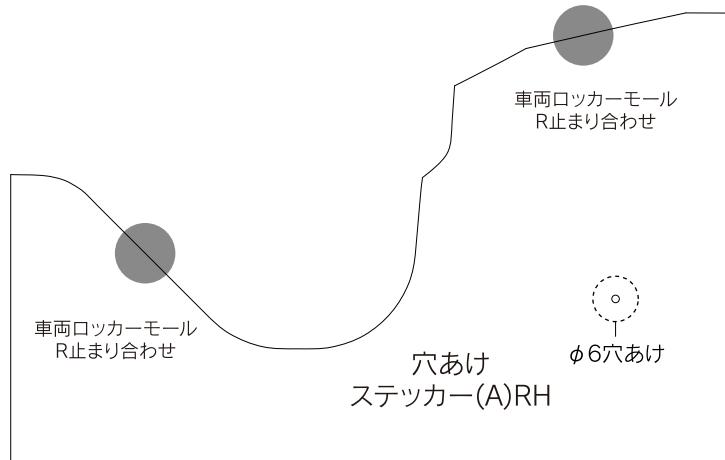
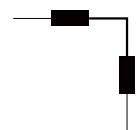


IS
F SPORT PARTS (TRD)
MS344-53004/5/6
サイドスカート 穴あけステッカー RH

0 50mm

SD/RH

●部を車両部品
指示位置に合わせます。



脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載しております。

取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。

右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。



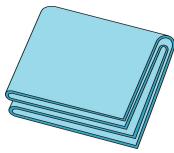
- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)

合計 約13分

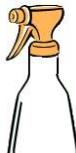
■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレー ボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
※純度100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

- ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
- 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
- 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

注意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・・スピードィーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



★脱脂作業概要《重要》

- ◎ 【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
- 大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。
- ◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



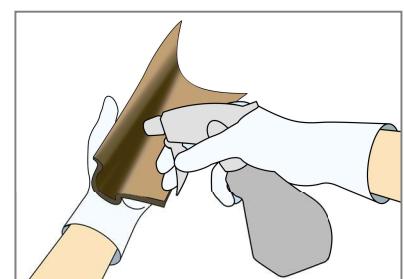
合成セーム皮

- スプレー ボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時に
クズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレー ボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度
スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った
状態を保つようにしてください。



● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

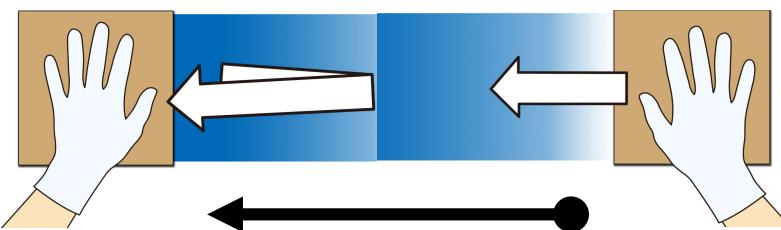
脱脂剤を含ませたウエスで

1往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に

拭き上げ油脂分を取り除く



1ブロック 60cm程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち

WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

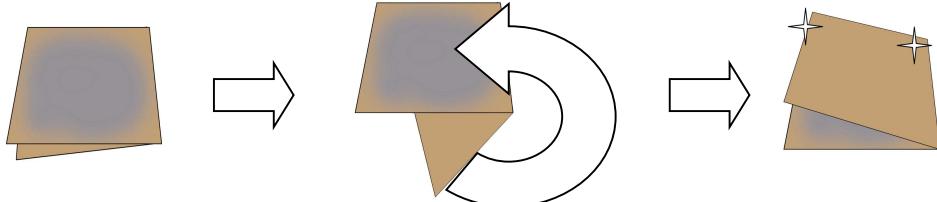
範囲が広い場合は1ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に3~5ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロペーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかりと行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。

ペーツの取り付け方法は、各ペーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。

